

実践教育訓練学会 第7回建築設計競技

1. テーマ 「健康配慮住宅」

人生100年といわれる時代となった。老人福祉法が制定された1963年当時の100歳以上の人口は、わずか153人だった。今日、日本の100歳以上の人口は、8万人を超えている。しかしながら、平均寿命と健康寿命とを比べると、健康寿命が平均寿命より10歳ほど低いと言われており、健康寿命を延ばすことが喫緊の課題となっている。

気象条件に目を向けると、地球温暖化が進むことにより、夏季に熱中症の危険性が無いこと、冬季にヒートショックの危険性が無いことが求められる。一方で、地球の健康性に配慮するために、なるべく化石燃料を消費しない住宅が求められている。

日本健康住宅協会は、健康住宅を健康に住み続けることのできる“性能”や“設備”を備え、住む人が健やかな住まい方をしている住宅と定義している。また、2020年の警察庁統計・厚生労働省人口動態調査によると、家屋内事故の死因内訳の約57%が、住環境に関係しているという結果が出ている。

健康を維持するためには、人間の身体的な健康のみならず、家の健康、環境の健康なども併せ持つ必要があり、これらは密接に関係している。人間の身体的な健康を維持するためには、身体と精神の両方に問題がなく自由に自分らしく生きられることも大切である。また、病気になっても自然治癒力で健康に戻せることができる環境も必要である。

日常生活は、食事・生活・メンタル（心）の三つが柱から成り立っている。食事・生活の健康は物理的に見えるが、メンタル（心）の健康は見え難いから判断が難しい。質の高い健康や幸福とは、肉体的・精神的・社会的に満たされた健康な状態を示している。高齢化社会に対応することだけに捉われない、万人に対しての健康配慮住宅を提案して欲しい。

(審査委員長：和田 浩一)

2. 審査委員

審査委員長

和田 浩一 職業能力開発総合大学校 能力開発院 教授

審査委員

調整中

3. 表彰

1等 実践教育建築デザイン賞

副賞 QUOカード

2等 協賛企業賞 (調整中)

※各入賞者には、東京大会（職業能力開発総合大学校）で行われる 2024 実践教育研究発表会（以下、発表会）において表彰し、発表会でプレゼンテーションをして頂きます。入賞作品ごとに1名の旅費を支給します。

優秀作品 20 点程度を選抜し、発表会において展示します。

なお、発表をオンラインプレゼンテーションする場合は、旅費の支給がありません。

2024 実践教育研究発表会開催概要

開催日： 2024 年 8 月 16 日（金）～17 日（土）

会 場：職業能力開発総合大学校（東京都小平市小川西町 2 丁目 32-1）

（プレゼンテーション・表彰日： 8 月 16 日（金）午後）

4. スケジュール

WEB エントリー 2024 年 4 月 1 日（月）～6 月 21 日（金）

下記よりエントリーしてください。

実践教育訓練学会の HP

<http://www.jissen.or.jp/>

第 7 回建築設計競技エントリーフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeWAbGguZPaL1-xqP5DWJBFmcQ6S9GZd0eDSk1px1L1SUTsTQ/viewform>



エントリー時に必要な情報

返信が受け取れるメールアドレス（受信制限を解除してください）、応募者（グループで応募する場合は代表者）の住所、氏名（ふりがな）、年令、電話番号、学校（施設）名、使用ソフト（2 等のメガソフト株式会社賞の要件となるため）

作品締め切り 2024 年 6 月 30 日（日）（PDF の電子投稿）

作品提出先：

(1) jissen.compe@gmail.com （25MB 以下）

(2) 無料大容量ファイル転送サービスを使って上記アドレスに送付することも可能。

結果発表 2024年7月末

(一社)実践教育訓練学会のHPで発表すると同時に、入賞者にはメールにてお知らせします。

5. 応募資格 (2024年4月1日現在)

一般大学・大学院学生

高等専門学校学生

職業能力開発関係施設で学ぶ学生・受講生

専門学校学生

工業高校生徒

※1グループ 4人以内

6. 審査

審査は、審査委員による作品評価を行います。公開審査は行いません。

7. 提出図面

A1版 横使い 1枚 (25MB以下)

各図面の縮尺は自由

8. 作品条件

(1) 敷地面積：200㎡以下

(2) 最高高さ：12m以下

(3) 建ぺい率の制限：60% 容積率の制限：150%

(地階・駐車場の容積率の緩和を使っても良い)

(敷地面積、建ぺい率、容積率、最高高さについては、作品の中に明記すること)

(4) 用途地域や斜線制限などの建築法規は考慮しなくても良い

(5) 敷地のロケーションは、具体的にイメージできる場所を自由に設定する

(6) 建物の構造は、自由

9. 質疑応答

課題に関する質疑応答は行いません。本要項に定める内容以外は、応募者の自由とします。

10. 注意事項

・応募作品は未発表のものに限ります。

・同一作品の他設計競技との二重応募は、受け付けません。

- ・事前に WEB エントリーフォームから登録を行ってください。
- ・応募作品の一部あるいは全部が、他者の著作権を侵害してはなりません。また、雑誌や書籍、ウェブサイトなどの著作物を許可なく使用してはなりません。
- ・著作権侵害のおそれがある場合は主催者の判断により入賞を取り消すことがあります。
- ・応募作品（PDF）は返却しません。
- ・本設計競技の応募作品に関する著作権は応募者に帰属します。応募作品の（一社）実践教育訓練学会 HP やジャーナル掲載、協賛企業 HP へのリンクなど、発表に関わる権利は主催者及び協賛企業が保有します。
- ・本設計競技において取得した個人情報は、主催者と協賛者が共有します。本設計競技の運営以外には使用いたしません。また、第三者に譲渡や転売はいたしません。

11. 協賛企業

調整中

12. 建築設計競技事務局

（一社）実践教育訓練学会

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13

ユニゾ小石川アーバンビル 4F 学会支援機構内

TEL 03-5981-6011